

食育だより 1月号



2021年 1月12日
横浜市立都田西小学校
校長 三橋 淳子
栄養教諭 山極 昌代

* 1月の献立から

- 日本の伝統的な食文化を伝えるために、正月料理を取り入れました。(白玉ぞう煮、なます)
- 給食週間にちなんだ献立を取り入れました。
給食の歴史を伝える献立・・・セルフおにぎり
横浜に関わりの深い献立・・・すき焼き風煮、麻婆豆腐、五目焼きそば
自然の恵みに感謝し、給食にかかわる人に感謝の気持ちをもてる献立
・・・とんカツ
- 冬に美味しい旬の食品を取り入れました。
(ぶり、ブロッコリー、ほうれんそう、こまつな、ごぼう、白菜、春菊、かぶ、大根、いよかん、ぼんかん、ゆず)



* 都田西小の給食

- 20日(水)給食週間にちなみ、児童書「こまったさんのカレーライス」を題材に、りんごペーストを入れたカレーを実施します。また小麦粉の代わりに米粉を使い、最後にマーガリンを入れて仕上げる予定です。昨年度実施してとても好評でしたので、今年度も実施します。
(材料：豚肉、じゃがいも、たまねぎ、にんじん、しょうか、にんにく、油、りんごペースト、米粉、マーガリン、カレー粉、トマトケチャップ、中濃ソース、しょうゆ、塩、水)
- 今月の横浜市産は、こまつな・ほうれんそう・キャベツ・長ネギ・白菜・にんじんの予定です。
- ◎2月16日(火)6年生お楽しみ給食(セレクト給食)の予定です。1月中旬に自分で主菜(めかじき・鶏肉)・デザート(りんご・はるか【柑橘類】)を選びます。

* 給食週間があります～1月24日は給食記念日です

給食の歴史

- 明治22年 山形県鶴岡町 忠愛小学校でおにぎり・鮭・漬物の給食を実施
- 大正12年 児童の栄養改善のための方法として学校給食を国で奨励
- 昭和19年 6大都市の小学校児童200万人に対し、米・みそ等の特別配給をして学校給食が実施
- 昭和21年 12月24日 東京、神奈川、千葉の三都県の学校で試験給食実施
- 昭和24年 10月ユニセフ(国際連合児童基金)からミルクの寄贈を受けてユニセフ給食が開始
- 現在 全国小中学校 約890万人の児童生徒が給食を食べています。
(文部科学省 学校給食実施状況調査 平成30年度 平成31年2月)

12月24日が冬休みに近いことから1月24日が給食記念日になりました。



ぜひご家庭でも食べ物を大切にすることを話題にし、世界の食糧事情を考えるきっかけにしていだければと思います。

都田西小学校では25日から29日を給食週間として、昼の時間に給食委員会児童によるインタビュー・クイズ、給食室の様子を放送で見ます。また各クラスで作った給食カルタを給食室前に展示します。